

事故が $\frac{1}{10}$ に減る

新しい誤薬事故防止対策

- 取り違え事故をチェックする -

どの施設でも悩みのタネの誤薬事故。根本から考え直してみませんか？そもそも食事介助の時は、職員はみんな死ぬほど忙しいのですから、高い注意力なんて期待できる訳は無いのです。ではどうしたら良いでしょう？答えはカンタン、**ボーっとしていても誤薬が防げるような仕組み**を作れば良いのです。ヒューマンエラー事故の防ぎ方は、ミスが起きても事故につながらない仕組みを作ることなのです。本当に10分の1に減りますよ。乞うご期待!!!

セミナーの概要

《1》誤薬事故防止対策の現状と問題点

- ・職員の注意力では誤薬は防げない

《2》誤薬事故の分析方法

- ・薬と取り違えと利用者の取り違え

《3》ヒューマンエラーの防止対策から学ぶ

- ・ミスと事故と損害を分けて考える

《4》新しい誤薬事故の防止対策

- ・ミスの発生を防ぐ対策
- ・ミスが起きても事故につながらない対策
- ・事故が発生した時損害を軽減する対策
- ・QRコードで薬と利用者を確認する施設

《5》誤食誤配事故への対策

- ・誤薬は防いでも食膳の取り違えは防げない

《6》誤薬事故発生時の対応など

- ・経過観察中に急変死亡し看護師が業務上過失致死

▶ 誤薬の種類

1 飲み間違い誤薬

2 取り違え誤薬

▶ 取り違え誤薬に重点を置く

▶ 取り違え方の分析

A 薬の取り違え

B 利用者の取り違え

▶ どんな場面で
どのように
取り違えたのか？

☑ 取り違え場面別に対策を講じる

- ・お薬ボックスから薬のピックアップする時に取り違える
- ▶ 薬の確認作業とチェックの方法

3. ミスを発見するチェックの手順

服薬直前の最終チェックは何を確認すれば良いか？



何を使ってチェック（照合）すれば簡単に確かか？

無料オンラインセミナー開催要領

■開催日時：2023年8月28日（月）13:30～15:00

■主催：株式会社安全な介護

■講師：株式会社安全な介護 代表 山田滋

■参加費：無料

■参加方法：Zoomによるオンライン（接続PCは3台まで）

■申込方法：下記URLからお申し込み下さい（8月17日締切）

<http://tiny.cc/3cy7vz>

お申込みいただいた方には、締め切り後に視聴用URLとテキストをメールで送付いたします。

講師プロフィール

山田 滋 早稲田大学法学部卒業と同時に現あいおいニッセイ同和損害保険入社。2006年7月よりインターリスク総研主席コンサルタント、2013年5月末あいおいニッセイ同和損保を退社。2014年4月より現職。高齢者施設や介護事業者と取り組み、現場で積み上げた実践に基づくリスクマネジメントの方法論は、「わかりやすく実践的」と好評。各種団体や施設の要請により年間150回のセミナーをこなす。

セミナーに関するお問い合わせは

株式会社安全な介護 セミナー事務局

mail:soudan@nanasha.co.jp